

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)

【公開番号】特開 2000-350128 (P2000-350128A)

【公開日】平成 12 年 12 月 15 日 (2000.12.15)

【出願番号】特願 平 11-156756

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/76

G 0 3 B 27/32

H 0 4 N 1/21

H 0 4 N 1/40

H 0 4 N 5/91

// H 0 4 N 5/253

【F I】

H 0 4 N 5/76 E

G 0 3 B 27/32 B

H 0 4 N 1/21

H 0 4 N 1/40 Z

H 0 4 N 5/91 H

H 0 4 N 5/253

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 9 日 (2004.8.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

フィルム情報としては、例えば、新写真システムのフィルム F であれば、前述のフィルム I D が設定されているので、これを用いて、フィルム F を特定することができる。なお、フィルム I D は、前述のように、磁気情報として記録されており、また、カートリッジやインデックスプリントにも記載されているので、キャリア 3 0 による磁気情報の読み取りやオペレータによるキーボード入力等によって取得することができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 4】

オペレータは、フィルム F に応じたキャリアのスキヤナ 1 2 への装着、キャリア 3 0 へのフィルム F のセット、第 1 処理モードの選択、作成するプリントサイズ、各種の必要な指示や情報の入力等を行った後に、プリント作成開始を指示する。

これにより、スキヤナ 1 2 の可変絞り 2 4 の絞り値等がプレスキャンの読取条件に応じて設定され、その後、キャリア 3 0 がフィルム F をプレスキャンの速度で副走査方向に搬送して、前述のように所定の読取位置において、フィルム F がスリット走査されて投影光がイメージセンサ 3 4 に結像して、フィルム F に撮影された画像が R , G および B に分解されて光電的に読み取られる。

また、キャリア 3 0 によるフィルムの搬送の際に、フィルム F に記録された D X コード

や磁気情報が読み取られ、処理装置 1 4 に送られる。

以上の操作によって、装着されたキャリアの情報、磁気情報や D X コードの読み取り結果から、パラメータ統合部 7 6 部が、フィルム I D、フィルム種、コマ番号等の検索情報を取得する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 2】

本スキャンは、読取条件が各コマ毎に設定された本スキャンの読取条件となる以外はプレスキャンと同様に行われ、イメージセンサ 3 4 の出力信号はアンプ 3 6、A / D 変換器 3 8 で処理され、処理装置 1 4 のデータ処理部 4 8 で処理されて、L o g 変換器 5 0 で本スキャンデータとされ、本スキャンメモリ 5 2 に送られる。

本スキャンデータが本スキャンメモリ 5 2 に送られると、本スキャン処理部 5 8 によって読み出され、各コマの画像領域が切り出され、処理部 6 6 において各コマ毎に確定した画像処理条件で画像処理され、次いで、信号変換部 6 8 で変換されて出力用の画像データとされ、プリンタ 1 6 に出力され、この画像データを再生したプリントが作成される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 1】

出力指示によって、画像データの処理が確定し、準備が完了していれば本スキャンが開始される。なお、読取条件確定等に応じて本スキャンが可能であれば、出力指示の前に本スキャンを行ってもよいのは第 1 処理モードと同様である。

本スキャンは、基本的に第 1 処理モードと同様に行われ、スキャナ 1 2 は、供給された本スキャンの読取条件の基で読み取りを行い、イメージセンサ 3 4 からの出力信号はアンプ 3 6 で増幅されて、A / D 変換器 3 8 でデジタル信号とされ、処理装置 1 4 のデータ処理部 4 6 で処理されて、L o g 変換器 4 8 で本スキャンデータとされ、本スキャンメモリ 5 2 に送られ、記憶される。

次いで、本スキャンデータが本スキャンメモリ 5 2 から読み出され、処理部 6 6 において設定された処理条件で処理され、信号変換部 6 8 において変換された出力用の画像データとされ、プリンタ 1 6 に出力され、これを再現したプリントが出力される。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 6】

シュミレーション画像が表示されると、第 1 処理モードと同様に、オペレータがディスプレイ 2 0 の表示を見て、焼き直しするコマの検定を行い、必要に応じて、キーボード 1 8 a に設定された調整キー等を用いて、色、濃度、階調等の調整等（マニュアル補正）を行う。

調整の信号はキー補正部 7 4 に送られ画像処理条件の補正量が算出され、この補正量がパラメータ統合部 7 6 に送られ、処理部 6 2 および処理部 6 6 に設定した画像処理条件が補正され、オペレータによる入力に応じて、ディスプレイ 2 0 に表示される画像も変化する。

オペレータは、検定 O K と判定すると、キーボード 1 8 a 等を用いて、出力指示を行い

、そのコマ（画像）に施す処理が確定する。